文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール(SSH)　第Ⅰ期　令和６年４月～令和11年３月(５年間)

都城泉ヶ丘高校・附属中学校 SSH通信

世界に翔け！「ワシの子」たち！

研究開発課題：未来を切り拓く探究心とレジリエンスを育む科学技術人材育成プログラム

第10号
令和７年５月１０日 発行
文責：SSH推進部

宮﨑真司 新校長　挨拶

本校は、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けて2年目を迎えました。
「未来を切り拓く探究心とレジリエンスを育む科学技術人材育成プログラム」という研究開発課題達成のためにこれまで様々な大胆な取り組みを行ってきています。
それは「高校3年時まで文理分けを行わない」「理科4科目の履修」「普通科では3年間5単位を理数探究（基礎）に充て、理数科では11単位を探究型学校設定科目に充てる」などに代表される取り組みです。併せてこれまでの知識伝達型授業から探究型授業へと改革するためのプロジェクトにもチャレンジしています。
しかし、これらの取り組みによって私たちが本当に目指しているのは、単なる「理系のエリート」を育てることではありません。

「文系であっても、データを科学的に読み解き、
社会の問題を解決できる人」
「理系であっても、感性が豊かで、
周囲の人たちと協働して未来を創れる人」

これが、本校が育てたい「新しいリーダー」の姿です。
本校の生徒が10年後、20年後、大空を羽ばたくワシのように、世界をリードする人になること、これが私たちが描いている夢です。
この夢は、私たち教職員だけでは叶えられません。
保護者の皆様をはじめ関係機関の方々などたくさんの方々のお力添えがあってこそ、子どもたちは大きく羽ばたくことができると考えています。
どうか皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長　宮﨑　真司

今年度も、通称「ワシの子通信」をよろしくお願いします

本校で機会あるごとに引用される「ワシの子」の話にちなんで、このようなSSH通信のタイトルになっています。「ワシの子」の話の概略は以下の通り。

ワシの卵と知らずに雌鶏が羽化させ、自分の子供としてワシの子を育てます。ある時、そのワシの子が空高く飛ぶワシをうらやましそうに地上から見上げ「僕もあんなふうに飛びたいな」と言いました。すると雌鶏は答えます。「あなたは鶏なんだから飛べるわけないじゃない」と。ワシの子も「そうだよね」と言って、鶏として過ごしました、とさ。
出典『自分を磨く方法』ｱﾚｸｻﾝﾀﾞｰ・ﾛｯｸﾊｰﾄ著（Discover）より

我々は生徒全員を、可能性を持った「ワシの子」であると考え、**決してみくびらず**、「飛びたい」と思える**環境作り**と、寄り添い、伴走しながら共に成長できる**サポート体制**の実現を目指します。
あらゆる本校教育活動の機会の中で、大空に飛び立つための**探究心**と折れない心（**レジリエンス**）を身につけ、今後世界へ羽ばたいていく生徒達を大勢送り出したいと思っております。

ワシの子キャラクター
「モッピー」（生徒作）

探究発表の場面は学校を越えます！ 県西県南地区普通科高校探究発表大会 開催（3/17）

3月17日（月）に宮崎県県西県南地区普通科高校生が、日々各学校で行った探究活動の成果を発表する「探究学習発表大会」を本校体育館にて開催しました。
宮崎県は、「MSEC（宮崎SDGs教育コンソーシアム）フォーラム」という、県全体で開催する発表会が毎年7月に行われますが、その県西県南地区による、初めての試みでした。
第1回目の今回は、都城市、小林市、えびの市より5校104班、参加生徒350名の開催となりました。

各学校とも探究活動のスタイルは異なります。個人探究やグループ探究の違い、SDGsの課題解決を柱にして探究テーマを設定している学校、地域の課題解決を中心に探究している学校、個人の興味関心に関する探究を行っている学校等様々で、非常に興味深い探究発表会となりました。

生徒達は複数回の発表機会と質疑応答を繰り返すことで、この1日だけでも大きく成長したことと思います。また、会の最後には、学校の垣根を越えた交流会も行い、親睦も深めることができました。
日程変更等、ご迷惑をお掛けした中で、ご協力いただきました都城西高校、高城高校、小林高校、飯野高校の関係の先生方、そして参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

教師も変わらなきゃ　授業改革研修会（4/7）

SSH事業の研究開発の中に、「授業改革」があります。時代の変化に対応した人材育成を目指すために、教育界も様々な変革が起こっています。その潮流に、泉ヶ丘高校として乗り遅れないことはもちろん、新たな高校・中学のあり方を研究し、普及していくこともSSH校としての使命です。
知識詰め込み型で受験だけを見据えた進学校のあり方から、生徒が自ら学び、考え、将来を切り拓こうとする資質・能力を身に付けるための「授業」を各教科科目で実践し、併せて、進路目標を実現できる学力を身に付ける、そういう泉ヶ丘高校・附属中学校でありたいと思っています。

本校では「いずみ式探究型授業」と銘打ち、教師間で共通理解を図るとともに、実践を行うことで互いに研鑽していきます。年度当初の職員研修の他、有志で結成した「授業改革プロジェクトチーム」も始動しました。年齢層、教科を越えた教師の議論・実践は、必ず生徒の意識を大きく変える授業となるはずです。学習環境改善は、今年度より大きく動き出しました。「生徒のためになること」、我々教師集団もそのためには努力を惜しまず、挑戦していきたいと思っています。

宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校・附属中学校
〒885-0033 宮崎県都城市妻ヶ丘町27街区15
TEL：0986-23-0223　Fax：0986-24-5884
学校HP：https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6011/?page_id=13　QRコード⇒
SSHに関するお問い合わせはこちら⇓
SSH推進部メール：izumigaoka.ssh@g.miyazaki-c.ed.jp